

長崎県社会保障推進協議会

発行責任者: 川尻瑠美

〒850-0056 長崎市恵美須町 2-3-2F 長崎県保険医協会気付

TEL 095-825-3829 / FAX 095-825-3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

2022 年自治体キャラバン

県への要請に対する回答と懇談について



毎年恒例の自治体キャラバンの最後の仕上げは、県への要請・懇談です。県からの回答を受けての懇談を 5 月 25 日オンラインで行い、本田会長はじめ県社保協から 5 人が参加しました。回答の内容と懇談の概要を報告します。

医療・介護の提供体制について

要請)5 類移行後も「ゼロコロナ」を求められる医療・介護の提供体制を維持するために経済的支援が必要。国と協力して支援策の策定を。

回答)国の「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、医療機関や介護サービス事業所、施設等への負担軽減に向けた支援策を検討します。

県の補正予算案では、事業者支援の一環として、医療機関、介護・障害者施設等への「エネルギー価格高騰分を支援」として 14 億 1,100 万円が計上されています。一方でマイナンバー普及促進目的の「マイナンバーカードを取得した 18 歳以下の県民に 1 万円のデジタルポイントを付与」の予算として 15 億 8,000 万円が計上されています。

社会保障制度としての国民健康保険について

要請)「払える国保料(税)」に、「法定外繰り入れの解消等」を保険者努力支援制度の評価指標から削除するように国に対して要請を。

回答)一般会計繰り入れについては、市町の自主性を尊重しつつ、計画的・段階的な解消・削減に取り組むこととしています。強制ではなく、市町の実情に応じて対応していくべきものです。

●懇談では・・・●

マイナ保険証の普及に伴う、現行の保険証の廃止問題について尋ねました。マイナ保険証になった場合、保険料滞納世帯の短期保険証については「廃止される」との県の認識でした。しかし、そ

れは受療権の侵害につながらないのかということを探りましたが、県は「マイナンバーカードを持っていない人は資格確認書になります」という答えを繰り返すばかりでなかなか噛み合わないという状況でした。マイナ保険証については、県もまだイメージが十分できていないように思われます。

介護保険及び高齢者福祉サービスについて

要請)介護従事者の人材不足は深刻。国に対して処遇改善につながる施策検討の働きかけを。

回答)人材不足は喫緊の課題。長崎県の介護職員の給与は依然として全産業平均と比べて低い状況です。国に対して処遇改善加算制度のさらなる拡充など要望します。

●懇談では・・・●

人材不足の問題から波及して、業者からの紹介手数料が高額になっていることも現場の問題となっており、県の認識を尋ねました。県としてもそのような実態があることは知っているし、国も問題視している、しかし条例などで規制をかけるという計画は今のところないとのことでした。国の法整備を待つという姿勢のようです。

子育て支援等について

要請)子どもの医療費助成制度を現物給付にして、窓口負担をゼロに。

回答)現物給付については、厳しい財政状況の中多額の財源が必要になってくるため困難です。本来、子どもの医療費助成制度は国の責任において整備

すべきものです。国への要望を強めます。

●懇談では・・・●

償還払いを現物給付にした場合、どれくらいの費用が必要になるのかという質問をしましたが、具体的な試算はしていないとの回答でした。ただし、以前子ども医療費を償還払いから現物給付にしたとき 1.5 倍の経費が必要という結果になったとのことでした。「現時点では難しいが、今後拡大について検討していきたい」との担当者の回答がありました。

障がい者支援施策について

要請)障がい者医療費助成制度の助成方法を現物給付に。

回答)現物給付の導入にあたっては事業主体である市町においても一定の医療費の負担が伴うこともあり、市町との協議が整っていない現状では、現物給付の導入は困難です。

●懇談では・・・●

現物給付にした場合の経費について、試算されているのかその内容を確認しました。「現物給付を行えば国保の国庫負担の減額調整や受診増による審査事務の手数料増で、県全体で 7 億 6000 万円負担が増加するという試算がある」と紹介されました。そのような国の制度もおかしいのではないかと指摘した上で、社保協としてもおかしいと声をあげていきたいし、県にも国に対し声をあげてほしいとさらに求めました。

年金・生活保護について

要請)年金も生活保護もこれ以上の引き下げを行わないように国に要請を。

回答)年金については、国の動向を注視していきます。生活保護については、県は生活保護基準の妥当性を判断する権限や手段を有していません。真に保護を必要とする方が受給されるように適正な運用に努めます。

●懇談では・・・●

年金生活者の生活苦について実態を伝え、低年金・無年金の方の救済制度について尋ね積極的な救済を求めました。生保については、マイナンバーカードを申請した受給者の方が「マイナ保険証で受診できると言われたが病院で断られた」という事例を紹介して、実態を尋ねました。今年度はまだだが、来年度から生保の方はマイナンバーカードで受診できるようになるとのことでした。マイナポイントキャンペーンで駆け込み申請が増える中で、申請時に正確な説明をされなかったことで、発生した事例と言えます。



自治体も財政的に多くの問題を抱えていることはわかりますが、石木ダムやカジノなど「無駄遣いでは？」と思える支出があるのも事実。財源論ではなく、まずは「いのち・健康」という視点からはじまる議論を求めていくことが重要ではないでしょうか。

2023年度

長崎県の国保必要額



右の表は、長崎県福祉保健部国保健康増進課により公表された 2023 年度長崎県の一人あたり国保必要額の表です（国が示す算定方法による理論値であり実際の保険料(税)を示すものではありません）。県単位化前の 2016 年度、昨年 2022 年度との比較をすると、多くの自治体で国保必要額は上がっています。私たちは「払える国保料(税)」を要望していますが、食料品や電気料金など、物価高騰の中「これは払える国保と言えるのか」…。改めて、県や市町へ要請し懇談する自治体キャラバンを重視し、幅広い取り組みにしていくことが求められています。

今年も始まります。ぜひ多くのご参加を。

	2016年度	2022年度	2023年度
長崎県平均	104,399	108,647	112,664
長崎市	98,104	110,246	113,437
佐世保市	103,783	98,511	104,614
島原市	115,261	108,257	109,332
諫早市	117,755	116,386	118,378
大村市	99,512	111,762	115,053
平戸市	111,945	102,008	104,663
松浦市	108,626	115,665	119,940
対馬市	110,548	109,689	115,663
壱岐市	115,805	106,676	105,793
五島市	95,836	99,830	100,793
西海市	94,531	106,604	109,345
雲仙市	116,528	120,754	133,508
南島原市	112,197	110,983	118,789
長与町	98,767	111,402	114,337
時津町	100,618	113,214	116,414
東彼杵町	104,367	117,258	120,601
川棚町	108,755	119,423	121,177
波佐見町	105,917	111,919	119,375
小値賀町	111,408	106,808	105,369
佐々町	90,925	102,132	105,281
新上五島町	86,139	97,163	99,600

長崎県社会保障推進協議会

発行責任者: 川尻瑠美

〒850-0056 長崎市恵美須町 2-3-2F 長崎県保険医協会気付

TEL 095-825-3829 / FAX 095-825-3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

2023 自治体キャラバン今年もはじまります

現在、県内自治体からのアンケート回答を集計中です。回答の中からいくつかご紹介します。

●2023年・国保料は・・・●

右表は毎年確認しているモデルケース「夫婦(40歳代)・子ども(中学生1人・高校生1人)の4人世帯・所得300万円・固定資産税5万円」の昨年との比較です。県内平均でも増えていますが、大きく増えているのは、対馬市、雲仙市、小値賀町です。

県内国保料を全国と比較するとどうなるでしょうか。

中央社保協が調査した全国中核市の国保料一覧(2022年度国保料・中央社保協調査の86市)では、長崎市はどのモデルケースでも上位に位置しています。

- ①夫婦(40歳代)・子ども(中学生1人・高校生1人)の4人世帯・所得200万円・妻年収0円: 386,600円
- ②夫婦世帯(70歳代)・所得80万円・妻年収0円: 94,900円
- ③単身世帯(70歳代)・所得100万円 132,400円
- ④単身世帯(70歳代)・所得0円: 19,000円

※●数字は下の表とリンクしています。

全国の中での大まかな立ち位置がわかるでしょうか。



市町名	2023年	2022年	2023年-2022年
長崎市	593,800	572,300	21,500
佐世保市	484,200	484,200	0
島原市	641,400	641,400	0
諫早市	609,610	583,960	25,650
大村市	540,800	540,800	0
平戸市	567,600	532,800	34,800
松浦市	605,300	559,500	45,800
対馬市	538,100	473,280	64,820
壱岐市	524,600	524,600	0
五島市	510,200	510,200	0
西海市	519,500	519,500	0
雲仙市	599,400	541,300	58,100
南島原市	595,400	595,400	0
長与町	539,600	539,600	0
時津町	579,300	593,800	-14,500
東彼杵町	577,400	577,400	0
川棚町	595,500	595,670	-170
波佐見町	578,400	578,400	0
小値賀町	542,500	486,340	56,160
佐々町	443,700	443,700	0
新上五島町	495,500	495,500	0
平均	556,277	542,364	13,912

①

1 岡山市	423,649
2 東大阪市	412,109
3 吹田市	401,140
4 函館市	401,054
5 大阪市	396,073
6 寝屋川市	395,000
7 豊中市	392,529
8 堺市	387,779
9 枚方市	387,300
10 長崎市	386,800

※佐世保市は46位

②

1 倉敷市	105,540
2 東大阪市	104,152
3 神戸市	101,560
4 吹田市	101,065
5 鹿児島市	100,900
6 豊中市	98,852
7 岡山市	98,105
12 高槻市	96,573
13 長崎市	94,900

※佐世保市は43位

③

1 東大阪市	147,694
2 吹田市	146,836
3 倉敷市	146,160
4 鹿児島市	145,400
5 高槻市	143,844
6 神戸市	140,310
14 旭川市	133,413
15 高知市	133,280
16 秋田市	132,500
17 長崎市	132,400

※佐世保市は39位

④

1 東大阪市	24,866
2 吹田市	24,386
3 高槻市	23,711
4 倉敷市	23,328
5 豊中市	23,108
6 神戸市	22,404
21 岡山市	19,296
22 高知市	19,260
23 明石市	19,200
24 長崎市	19,000

※佐世保市は45位

●子ども医療費・県内の状況は・・・●

長崎県が高校生世代の助成を行うようになり、これからの課題は「現物給付」の実現です。昨年までは中学校までの現物給付実施は8自治体でしたが、10月には6自治体増えて14自治体に、さらに3自治体の実現間近という状況で、県内半数を超えてきました。各市町で表現方法が微妙に異なりますが、高

校生までの現物給付も増えてきました。医療機関の範囲の拡充もみられます。右の表は、●が現物給付、●が償還払いです。2023年の表が黄色のところは変更・拡充がありました。「現物給付または償還払い」「子ども世代の現物給付」「全額補助」など詳細がわからない自治体もありますが、懇談の時に確認していきましょう。

これまで社保協が要求してきた子ども医療費の拡充が進んできているのは間違いありません。今後も「全市町・全世代の現物給付化」をめざしていきましょう。

2022年 → 2023年

市町名	乳幼児	小学校	中学校	高校生	市町名	乳幼児	小学校	中学校	高校生
長崎市	●	●	●		長崎市	●	●	●	●
佐世保市	●	●	●		佐世保市	●	●	●	●
島原市	●	●	●		島原市	●	●	●	●
諫早市	●	●	●		諫早市	●	●	●	●
大村市	●	●	●		大村市	●	●	●	●
平戸市	●	●	●		平戸市	●	●	●	●
松浦市	●	●	●	●	松浦市	●	●	●	●
対馬市	●	●	●		対馬市	●	●	●	●
壱岐市	●	●	●		壱岐市	●	●	●	●
五島市	●	●	●	●	五島市	●	●	●	●
西海市	●	●	●	●	西海市	●	●	●	●
雲仙市	●	●	●		雲仙市	●	●	●	●
南島原市	●	●	●	●	南島原市	●	●	●	●
長与町	●	●	●		長与町	●	●	●	●
時津町	●	●	●		時津町	●	●	●	●
東彼杵町	●	●	●	●	東彼杵町	●	●	●	●
川棚町	●	●	●	●	川棚町	●	●	●	●
波佐見町	●	●	●	●	波佐見町	●	●	●	●
小値賀町	●	●	●	●	小値賀町	●	●	●	●
佐々町	●	●	●	●	佐々町	●	●	●	●
新上五島町	●	●	●	●	新上五島町	●	●	●	●

2023年自治体キャラバン

事前検討会のお知らせ

日時：9月29日（金）19:00～20:45

会場：長崎県保険医協会 8F 会議室

今年は集合開催です。ぜひ会場にご参集いただき、有意義な事前検討会にしていきましょう。

遠方から参加の場合は、交通費をお支払いします。事前にご連絡ください。

長崎県社会保障推進協議会 第27回定期総会のお知らせ

日時 10月15日(日) 14:00～14:25 総会

14:30～16:00 記念講演

会場 長崎市立図書館新興善メモリアルホール (長崎市興善町1-1)

記念講演 子どもの貧困のこれまでと今後の課題



講師 公益財団法人あすのば事務局長 柳瀬 和夫 氏

「子どもたちと明日をつくる」子どもの貧困対策センター **あすのば**

公益財団法人あすのばは、「明日の場」であるとともに「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」といっしょだよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が他人事ではなく自分事を感じてほしいという「私たち」でもあります。

今回は、あすのば事務局長の柳瀬さんに、身近で見てきた「子どもたちの声」を中心に、現状と課題をお話しいたします。ぜひ、ご参加ください。

参加費
無料